

吸収合併に係る事前開示書面（変更）

ウェルネオシュガー株式会社

2025年6月20日

吸収合併に係る事前開示事項（変更）
（会社法第794条第1項及び会社法施行規則第191条に定める書面）

東京都中央区日本橋小網町1-4番1号
ウェルネオシュガー株式会社
代表取締役社長 山本 貢司

当社および第一糖業株式会社（以下「第一糖業」といいます。）は、2025年10月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、第一糖業を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」といいます。）を行うことといたしました。

本合併に関しまして、2025年6月6日に事前開示事項の備置を開始しておりますが、第一糖業の2025年6月19日付株主総会において、同社の2025年3月期に係る計算書類が承認されたことに伴い、同社に新たな最終事業年度が存在することになりましたので、会社法施行規則第191条第7号の規定に基づき、下記のとおり変更後の事項を開示いたします。

記

[変更後の事項]

吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容

第一糖業の最終事業年度に係る計算書類等は別紙のとおりです。

以上

別 紙

事 業 報 告

第 6 1 期

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日

第一糖業株式会社

事業報告

〔 2024年 4月 1日 から 〕
〔 2025年 3月31日 まで 〕

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業年度末における主要な事業内容・・・(精製糖の製造および販売)

当事業年度におけるわが国経済は、個人消費やインバウンド需要に回復が見られ緩やかな景気回復基調で推移しました。一方で、不安定な国際情勢やエネルギー・資源価格の高騰などの影響により消費者の購買意欲の低下が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続くものと見込まれます。

精製糖業界におきましては、海外砂糖相場の変動により国内販売価格にも影響が懸念される中、少子高齢化や輸入加糖調製品、異性化糖及び高甘味度甘味料の増加などに伴う砂糖消費量の減少が続いている状況であります。また、原材料価格、エネルギー価格の高騰による製造コストの増加もあり、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような経済環境下、当社は、品質管理の徹底を図ると同時に、製品の安定供給、精糖加工費や物流費の削減、採算重視の販売、国産さとうきび100%使用製品の販売拡大活動に引き続き取り組んでまいりました。

粗糖現物市況は、期首1ポンド当たり¢22.65で始まりしました。主要産地ブラジルの生産が好調に進む中、北半球では雨季に纏まった降雨が観測されたことでインド、タイへの増産期待が高まると、8月には今期安値となる¢17台半ばまで下落しました。しかし、ブラジルで干ばつによる減産懸念が拡大すると、投機的な買いも強まり、9月には今期最高値となる¢23台後半まで急騰しました。10月以降は、ブラジルで降雨が観測され始めたことやドル高レアル安が進行したことで上値の重い展開になると、じわじわと値位置を下げ、¢17台後半まで下落しました。その後、主要産地の在庫ひっ迫が懸念されたことで¢21台半ばで反発しましたが、上昇一服後は¢20を挟んで揉み合い、¢18.86で期末を迎えました。

一方、国内砂糖市況は、期首日経上白現物価格、東京249～251円/kg、関門254円/kgで始まりしました。年間を通じて粗糖現物市況の動きを相殺するように為替が変動したことから、1年間国内砂糖市況に動きは無く、そのまま期末を迎えました。販売量はインバウンド需要の回復等もあったものの、暖冬のため季節商品の生産を抑制したことや物価高に伴う家庭用小袋の販売減少により前年同期を若干下回りました。

(2) 工場及び営業所並びに従業員の状況（2025年3月31日現在）

本 社 工 場 宮崎県日向市大字日知屋17371番地
福 岡 営 業 所 福岡県福岡市博多区博多駅前1-15-20 NMF博多駅前ビル9階
南九州営業所 宮崎県日向市大字日知屋17371番地
四 国 営 業 所 香川県高松市三条町597-3-101

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
62 名	-2 名	39.7 歳	14.0 年

(3) 主要な借入先（2025年3月31日現在）

借入先 ウェルネオシュガー株式会社
借入金残高 2,930,770 千円

(4) 事業年度における事業の経過および成果

当事業年度の販売状況は、数量で前事業年度に比べ自社製品は99%となりました。価格は年間を通じて粗糖現物市況の動きを相殺するように為替が変動したことから、国内販売価格も変動すること無く、採算重視の販売等に取り組み売上高は9,286百万円となり、前事業年度(9,008百万円)比103%となりました。

また、原油価格高騰等の影響もありましたが、コスト削減に努め、設備投資も行いました。その結果、売上原価は前事業年度(7,676百万円)比99%の7,602百万円、経常利益は前事業年度(608百万円)比134%の818百万円、当期純利益は前事業年度(659百万円)比86%の573百万円の実績となりました。

また、当事業年度は、総額292百万円の設備投資を行いました。その主なものは三温ミキサ及び上白サブミキサ、三温分離1〜3号機バスケット、ビスコ溶解槽の更新であります。

(5) 損益及び財産の状況

区分	第58期 2021/4〜2022/3	第59期 2022/4〜2023/3	第60期 2023/4〜2024/3	第61期 2024/4〜2025/3
売上高(千円)	7,353,106	8,373,642	9,008,180	9,286,365
当期純利益(千円)	167,295	322,557	659,449	573,372
1株当たり当期純利益(円)	185.88	358.39	732.72	637.08
総資産(千円)	7,024,954	5,574,991	6,219,147	5,883,037
純資産(千円)	5,974,799	871,047	1,569,129	2,137,664

(6) 親会社の状況 (2025年3月31日現在)

①親会社との関係

会社名	資本金	議決権比率	主な事業内容
ウェルネオシュガー株式会社	7,000 百万円	100.00%	砂糖の製造・販売

②親会社等との取引

当社は、ウェルネオシュガー株式会社との間で、主として委託加工契約書に基づく液糖委託製造、フラクトオリゴ糖受託製造、製品売買に関する覚書に基づく商品仕入及び、極度貸付契約書に基づく資金の借入、当社負担分の役員賠償責任保険の取引を行っております。

また、取締役会を中心とした当社独自の意思決定組織において、公正かつ適正な取引であると判断しており、その手続きの正当性について問題はないものと考えております。

(7) 会社が対処すべき課題

当社を取り巻く環境は、海外市況の変動に伴う国内市況への価格影響や個人消費の低迷、消費者の低価格志向等、引き続き予断を許さない状況が続いております。このような環境下で当社は、継続的な成長を目指し、経営理念・食品安全方針に基づいて基盤の強化、効率的な投資、人材育成などを進めて今後もコスト削減と市場へ安全安心の製品が供給できるように努め、株主の皆様のご期待にお応えする所存でございます。何卒、より一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 会社の株式に関する事項

(1) 株式の状況

- ① 発行可能株式総数 3,000,000 株
② 発行済株式の総数 900,000 株
③ 当事業年度末株主

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	出資比率
	(株)	(%)	(株)	(%)
ウェルネオシュガー株式会社	900,000	100.00	—	—
合 計	900,000	100.00		

3. 会社の役員に関する事項

(1) 取締役および監査役 (地位、担当等は2025年3月31日現在)

地位	担当	氏名	重要な兼職の状況
代表取締役会長		山 本 貢 司	ウェルネオシュガー株式会社 代表取締役社長
代表取締役社長		赤 木 正 樹	
取 締 役		伊 藤 成 人	ウェルネオシュガー株式会社 取締役 執行役員
監 査 役		今 井 秀 明	ウェルネオシュガー株式会社 常勤監査役

(注)

- 1) 2024年6月14日開催の第60回定時株主総会および同総会終了後の取締役会において、次のとおり代表取締役および取締役・監査役が選任され就任いたしました。

代表取締役会長	山 本 貢 司
代表取締役社長	赤 木 正 樹
取 締 役	伊 藤 成 人
監 査 役	今 井 秀 明

- 2) 当社は、執行役員制度を導入しており、執行役員は次のとおりであります。

地位	氏名	担当
社長執行役員	赤 木 正 樹	
専務執行役員	北 川 昇	社長補佐（兼）経営企画担当
常務執行役員	矢 北 通 義	営業担当
常務執行役員	黒 木 雄 二	業務・総務経理担当
執行役員	平 田 順 一	生産分掌
執行役員	黒 川 寿 雄	品質担当
執行役員	佐 藤 幸 一	生産担当

第6 1期附属明細書（事業報告関係）

該当する事項はありません。

貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書
株 主 資 本 等 変 動 計 算 書
重要な会計方針及びその他の注記
計 算 書 類 に 係 る 附 属 明 細 書

第 6 1 期

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月31日

第一糖業株式会社

貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資 産 の 部】		【負 債 の 部】	
流 動 資 産	3,745,216,734	流 動 負 債	3,690,765,948
現 金 及 び 預 金	210,464,797	買 掛 金	328,309,087
売 掛 金	524,951,281	短 期 借 入 金	2,930,770,632
商 品 及 び 製 品	713,728,090	未 払 金	162,498,232
仕 掛 品	95,826,633	未 払 費 用	23,860,367
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	2,158,685,278	未 払 法 人 税 等	141,851,800
前 渡 金	22,891,271	未 払 消 費 税 等	61,490,500
前 払 費 用	17,136,957	預 り 金	6,907,030
デ リ バ テ ィ ブ 資 産	633,200	賞 与 引 当 金	32,658,404
そ の 他	899,227	役 員 賞 与 引 当 金	2,343,000
		そ の 他	76,896
固 定 資 産	2,137,821,198	固 定 負 債	54,607,513
有 形 固 定 資 産	2,027,232,486	退 職 給 付 引 当 金	54,607,513
建 物	546,019,988		
構 築 物	234,688,296		
機 械 及 び 装 置	793,425,578		
車 両 運 搬 具	7,436,278		
工 具 器 具 備 品	16,859,780		
土 地	364,187,077		
建 設 仮 勘 定	64,615,489		
無 形 固 定 資 産	2,207,228	負 債 合 計	3,745,373,461
ソ フ ト ウ ェ ア	122,550	【純 資 産 の 部】	
電 話 加 入 権	2,084,678	株 主 資 本	2,121,337,287
投 資 そ の 他 の 資 産	108,381,484	資 本 金	450,000,000
投 資 有 価 証 券	60,991,551	利 益 剰 余 金	1,671,337,287
出 資 金	310,000	利 益 準 備 金	112,500,000
長 期 前 払 費 用	0	そ の 他 利 益 剰 余 金	1,558,837,287
繰 延 税 金 資 産	42,666,063	繰 越 利 益 剰 余 金	1,558,837,287
そ の 他	5,003,870	評 価 ・ 換 算 差 額 等	16,327,184
貸 倒 引 当 金	△ 590,000	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	15,887,110
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	440,074
資 産 合 計	5,883,037,932	純 資 産 合 計	2,137,664,471
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	5,883,037,932

損 益 計 算 書

（ 自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月 31日 ）

(単位:円)

科 目	金 額	
I. 売上高		9,286,365,396
II. 売上原価		7,602,116,815
売上総利益		1,684,248,581
III. 販売費及び一般管理費		885,873,275
営業利益		798,375,306
IV. 営業外収益		43,520,897
受取利息及び配当金	1,255,818	
早出料	1,472,475	
受取家賃	1,064,200	
為替差益	28,428,375	
補助金収入	6,905,100	
その他	4,394,929	
V. 営業外費用		23,029,268
支払利息	19,934,206	
固定資産除却損	1,407,991	
滞船料	1,687,071	
経常利益		818,866,935
IV. 特別損失		
投資有価証券清算損	44	44
税引前当期純利益		818,866,891
法人税、住民税及び事業税	249,003,331	
法人税等調整額	△ 3,508,460	245,494,871
当期純利益		573,372,020

株主資本等変動計算書

〔 自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月 31日 〕

	株主資本				
	資本金	利益剰余金			株主資本合計
		利益準備金	そ の 他	利益剰余金合計	
			利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 金 剰 余 金		
当期首残高	450, 000, 000	112, 500, 000	985, 465, 267	1, 097, 965, 267	1, 547, 965, 267
当期変動額					
剰余金の配当					
当期純利益			573, 372, 020	573, 372, 020	573, 372, 020
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当 期 変 動 額 合 計	0	0	573, 372, 020	573, 372, 020	573, 372, 020
当期末残高	450, 000, 000	112, 500, 000	1, 558, 837, 287	1, 671, 337, 287	2, 121, 337, 287

(単位:円)

	評価・換算差額等			純資産合計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰延ヘッジ 損 益	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
当期首残高	21,164,283	0	21,164,283	1,569,129,550
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				573,372,020
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△ 5,277,173	440,074	△ 4,837,099	△ 4,837,099
当 期 変 動 額 合 計	△ 5,277,173	440,074	△ 4,837,099	568,534,921
当期末残高	15,887,110	440,074	16,327,184	2,137,664,471

I. 重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

①市場価格のない株式等以外のもの

時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

②市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

(2) デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

月別総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産の減価償却方法

定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産の減価償却方法

ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員への賞与支給に備えるため、当事業年度末までの経過支給対象期間に対応する支給見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員への賞与支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産に基づき、当事業年度末において発生している額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社の主たる事業である精製糖事業については、製品を需要家に納入することを履行義務として識別しておりますが、総販売特約店契約書に基づき、原則として伊藤忠食糧株式会社を総販売特約店とし、同社を経由して販売を行っております。また、原料糖の販売及び受託加工については、委託加工契約書に基づき、これらの業務を行っております。

取引価額については、顧客との契約で約束された対価から、顧客に対する支払である特約店への手数料を控除した金額で測定しております。

原則として需要家に製品を引き渡した時点で当該製品に対する支配が顧客に移転し、履行義務が充足されると判断していることから、当該時点で収益を認識しております。また、原料糖の販売及び受託加工についても、原料糖を加工し受託加工を行った後に製造された製品を需要家に引き渡した時点で、当該時点で収益を認識しております。

顧客への納品後、1年以内に支払いを受けているため、約束した対価の金額に重要な金融要素は含まれておりません。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 9,435,630,426 円

2. 関係会社に対する金銭債権及び債務

短期金銭債権	21,126,111 円
短期金銭債務	3,102,050,078 円

3. 極度借入契約

当社は運転資金の効率的な調達を行うためウェルネオシュガー株式会社と極度借入契約を締結しております。
この契約に基づく当事業年度末における借入未実行残高は次の通りです。

借入極度額	5,000,000,000 円
借入実行残高	2,930,770,632 円
差引額	<u>2,069,229,368 円</u>

III. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上高	216,902,624 円
仕入高	6,106,519,791 円
販売費及び一般管理費	23,858,679 円
営業取引以外の取引による取引高	19,934,206 円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末の発行済株式の種類及び総数

普通株式	900,000 株
------	-----------

V. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

減価償却超過額	4,794,496 円
投資有価証券	3,833,241 円
貸倒引当金	512,667 円
賞与引当金	10,675,427 円
退職給付引当金	17,146,759 円
その他	17,514,449 円

繰延税金資産小計	<u>54,477,039 円</u>
----------	---------------------

評価性引当額	<u>△ 4,345,908 円</u>
--------	----------------------

繰延税金資産合計	<u>50,131,131 円</u>
----------	---------------------

繰延税金負債

繰延ヘッジ損益	193,126 円
その他有価証券評価差額金	7,271,942 円

繰延税金負債合計	<u>7,465,068 円</u>
----------	--------------------

繰延税金資産の純額	<u>42,666,063 円</u>
-----------	---------------------

VI. 金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、親会社からの借入により資金を調達する契約を結んでおります。

② 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、回収期日や残高を定期的に管理することで、リスク低減を図っております。なお、売掛金の回収期日は1年以内です。

投資有価証券である株式は、市場価格の変動リスクに晒されておりますが、主に業務上の関係を有する企業の株式であり、上場株式については四半期ごとに時価の把握を行っております。

営業債務である買掛金、未払金は、通常営業上発生する債務であり、1年以内の支払期日です。

短期借入金は、営業取引に係る資金調達であり、変動金利であるため金利の変動リスクに晒されております。

当事業年度の税負担額のうち、翌期に支払が行われる額である未払法人税等は、1年以内の支払期日です。

従業員の源泉所得税と住民税及び社会保険料である預り金は、1年以内の支払期日です。

また、営業債務や借入金は、流動性リスクに晒されておりますが、当社では、月次で資金繰りの計画を作成するなどの方法により管理しております。

デリバティブ取引は、重要な会計方針に係る事項に関する注記をご参照ください。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2025年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。なお、市場価格のない株式等及び重要性のないものは、次表には含まれておりません（(注2)参照）。

(単位：円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 投資有価証券 その他有価証券	44,235,551	44,235,551	0
(2) デリバティブ取引	633,200	633,200	0

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

現金及び預金、売掛金、買掛金、短期借入金、未払金、未払法人税等、未払消費税等、預り金については、現金であること、及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、記載を省略しております。

(1) 投資有価証券

上場株式は相場価格を用いて評価しております。

(注2) 投資有価証券のうち、非上場株式(貸借対照表計上額16,756,000円)及び出資金(貸借対照表計上額310,000円)は、市場価格のない株式等のため、投資有価証券のうち、非上場株式については「(1) 投資有価証券 その他有価証券」には含めず、出資金については記載を省略しております。

Ⅶ. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

(単位：円)

種類	会社等の 名称	議決権の所有(被所有) の割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社 (注5)	ウェルネオ シュガー(株) (旧：伊藤 忠製糖(株)含 む)	被所有 直接 100.00	当社製品の 委託製造 商品の仕入 資金の預入 役員の兼務	製品の委託製 造及び商品の 仕入(注1)	1,099,904,878	買掛金	149,802,579
				資金の借入 (注2)	△ 37,799,166	短期借入金	2,930,770,632
				利息の支払 (注3)	19,934,206	未払金	10,577,870
その他の 関係 会社	伊藤忠商事 (株)	被所有 間接 37.11	原料糖購入	原料糖の購入 (注1)	5,006,614,913	買掛金	10,898,997

兄弟会社等

種類	会社等の 名称	議決権の所有(被所有) の割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の 関係 会社の子会社	伊藤忠食糧 (株)	—	製品の販売	製品の販売 (注4)	8,700,063,555	売掛金	386,865,638

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 製品の委託製造及び商品の仕入、原料糖の購入については、市場の実勢価格を勘案して価格を決定しております。
- (注2) 決済用資金の支払に係るものであり、「取引金額」は年間の純増減額であります。
- (注3) 市場金利と当社の資金状況を勘案して返済条件及び利率を決定しております。
- (注4) 価格その他の取引条件は、市場実勢を参考にし、価格交渉の上で決定しております。
- (注5) ウェルネオシュガー株式会社は、2024年10月1日に親会社であった伊藤忠製糖株式会社を吸収合併したことにより、当社の株式を100%継承しております。

Ⅷ. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項」の「収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

Ⅸ. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	2,375円	18銭
1株当たり当期純利益	637円	08銭

第 6 1 期附属明細書（計算書類関係）

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

（単位：円）

資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得原価
有形固定資産							
建 物	551,680,609	28,579,933	91,557	34,148,997	546,019,988	1,336,885,256	1,882,905,244
構 築 物	246,090,507	7,719,489	14,913	19,106,787	234,688,296	522,800,444	757,488,740
機械及び装置	816,398,967	242,998,837	526,512	265,445,714	793,425,578	7,390,928,992	8,184,354,570
車両運搬具	3,369,281	6,447,328	1	2,380,330	7,436,278	24,865,968	32,302,246
工具器具備品	18,994,131	6,724,283	8	8,858,626	16,859,780	160,149,766	177,009,546
土 地	364,187,077	0	0	0	364,187,077	0	364,187,077
リ ー ス 資 産	0	0	0	-	0	-	-
建 設 仮 勘 定	65,055,674	292,029,685	292,469,870	0	64,615,489	0	64,615,489
計	2,065,776,246	584,499,555	293,102,861	329,940,454	2,027,232,486	9,435,630,426	11,462,862,912
無形固定資産							
ソフトウェア	299,344	0	0	176,794	122,550		
電話加入権	2,084,678	0	0	0	2,084,678		
計	2,384,022	0	0	176,794	2,207,228		

増加の主な内訳

機械及び装置	三温ミキサ	66,500,000 円
	上白サブミキサ	27,400,000 円
	三温分離1号-3号機バスケット	25,058,988 円
	ビスコ溶解槽	12,241,489 円

建 設 仮 勘 定 主に当期取得した建物、構築物、機械及び装置、車両運搬具、工具器具備品に係るものであります。

減少の主な内訳

建 設 仮 勘 定 当期に有形固定資産へ振替えたものであります。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
貸 倒 引 当 金	590,000	0	0	590,000
賞 与 引 当 金	29,664,476	32,658,404	29,664,476	32,658,404
役 員 賞 与 引 当 金	2,343,000	2,343,000	2,343,000	2,343,000
退 職 給 付 引 当 金	38,952,993	21,011,320	5,356,800	54,607,513

3. 販売費及び一般管理費の明細

(単位：円)

科 目	金 額
代 理 店 手 数 料	80,723,001
運 送 費	353,452,225
保 管 料	7,973,839
保 外 管 注 役 務 料	3,254,848
消 耗 品 費	39,838,245
点 検 費	8,440,049
修 繕 賃 借 費	7,188,366
減 価 償 却 費	4,851,979
保 險 料	18,435,225
租 賃 税 公 課	5,188,239
賃 借 料	2,629,638
給 賞 与 手 当	6,319,480
賞 与 引 当 金	150,245,772
役 員 賞 与 引 当 金	16,062,402
退 職 給 付 金	15,302,995
法 定 福 厚 利 生 費	2,343,000
福 水 光 熱 費	8,356,450
委 託 管 理 費	61,678,661
新 教 通 信 費	4,079,809
旅 交 店 際 費	347,835
特 交 会 議 宣 伝 費	21,012,340
告 白 費	1,100,817
諸 寄 事 雑 費	3,014,507
	4,618,703
	14,407,186
	1,601,919
	6,638,087
	3,410,680
	3,227,981
	8,966,393
	190,000
	16,478,000
	4,494,604
計	885,873,275

監 査 報 告 書

2024年4月1日から2025年3月31日までの第61期事業年度の取締役の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役、執行役員及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役、執行役員及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2025年5月19日

第一糖業株式会社

監査役

今井秀明 